

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
26	来山 淳平	い草製品製造工	広島県蘭業協会	「びんご畳表」の代名詞と称される「中継畳表」の第一人者の指導を受け後継者として公認を受けた。日本の足踏型手織中継表職人第一人者である。徳島県開催の「麻のフェスティバル」や、県立博物館での出前授業実演、近域の小中高等学校への出前授業等を継続して行い、中継畳表の普及に努めている。 <b>平成27年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工) 平成29年度秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
26	笹田 實	セメント焼成工	山陽白色セメント(株)	セメントの原料を高温加熱する工程において火力の調整と高温でのクリンカ生成を制御する高い技能を有し、また、ホワイトセメントの製造方法を熟知した国内でも少ない製造工の一人である。安定作業基準部会長として15年間の無災害継続に寄与してきた。
26	清水 充	配電・制御装置 修理工	西川ゴム工業(株) 吉田工場	設備保全担当者として、工場のユーティリティー関係をはじめ個々の設備のトラブル対応、メンテナンスに優れた知識、技能をもって業務を行っている。
26	藤村 敦志	冷間圧延工	(独)造幣局広島支局	圧延作業工程において圧延板の厚さを1/1000mm単位で制御する必要があり、その技能に精通している。圧延板製造工程一局集約と二交替制勤務導入の際、設備の改良に着手し貨幣製造計画を達成させた。 <b>平成28年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
26	松本 雅志	数値制御金属工 作機械工	三菱重工業(株) 三原製作所	印刷シリンダー加工において2mの加工に対して許容誤差0.1mmの加工を技能でカバーできる。また、螺旋溝加工の技能に長け、工具改善により加工時間を短縮させ経費削減効果を創出した。 <b>平成27年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工) 平成29年度秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
26	森田 充泰	機械修理工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所 (福山地区)	世界最高水準の技術を開発している冷間圧延設備の管理・改善業務に携わり製鉄業界の設備管理技術向上に多大なる貢献を果たした。リングロールの寿命延長に関する改善・改造方法を確立し高品質製品の安定供給に貢献した。 <b>平成27年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工) 平成29年度秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
27	大籠 茂利	金属材料原料工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所 (福山地区)	焼結鉬製造技能及び焼結プロセスの設備改善に優れた技能を有しており、高品質焼結鉬の製造基準を確立するなど、焼結鉬の製造や焼結製造プロセスの設備改善において、業界全体にきわめて大きく貢献した。
27	谷口 宜伸	建築板金工	谷口鋳金(有)	日本の社寺建築における板金技法に優れ、そこから独自に開発した今までにない新しい建築物の装飾品として、銅製の昆虫や植物を製作する技能を有する。その作品は、銅の持つ安らぎや癒しを世間に広めるとともに、建築板金工の認知度向上に貢献している。

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
27	豊田 保	旋盤工	(株)IHI 航空宇宙事業本部呉 第二工場	航空エンジンの重要部品の製造に長年従事し、チタン合金、ニッケル合金などの超難削材を、薄物、長物、複雑形状に切削する技能を有している。 航空エンジン部品の工事立上げに際して多くの治工具を考案するなど、近年の民間航空エンジンビジネスの成長を支えた。
27	山中 修	形鋼圧延工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所 (福山地区)	形鋼圧延の高能率化及びレール・造船用形鋼の寸法精度・形状精度の高精度化等において優れた技術を有し、形状用制御ローラーを圧延材に追随させる製造技術の開発等により、造船用形鋼の高品質化に貢献した。また、レールの熱処理設備改造及び冷却条件等を確立し、世界最高レベルの高強度レールの安定製造を可能とした。
27	吉田 直和	電気機械器具保守工	(独)造幣局広島支局	貨幣製造業務での地金を溶解し圧延板を製造する溶解圧延工程において、各設備の定期点検の保守を正確かつ迅速に行う優れた技能を有している。 この技能を用いた数多くの独創的な設備改善により、貨幣の安定供給に貢献した。 <b>平成28年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
27	吉村 明彦	配電・制御装置 修理工	西川ゴム工業(株) 三原工場	設備保全担当者として、工場のユーティリティ関係をはじめ、生産設備のトラブル対応に優れた技能をもちっている。 ウェザーストリップ(自動車用ゴム製シール)製品製造過程において、工程のロボット化やセルナビゲーションシステムの開発により生産能力を向上させた。
28	川上 真一	機械修理工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所 (福山地区)	溶接管及び薄板製造ラインの機械保全に従事し、能力拡大・品質向上の様々な課題に対し改善を進め、複数の特許登録がなされている。その技能を共通的基準書として体系化する等、後進技能者への指導・育成に尽力している。 <b>平成29年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和元年度秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
28	川口 典俊	金属製品計数 検査工	(独)造幣局広島支局	適正な品質の貨幣を封入・封緘する検査作業において、貨幣検査機の判定精度の改善や、自動封入封緘装置の袋掴み方法の改善などを行った。1/100mm単位で行う計数機の難しい調整を貨種ごとに的確に行い、その技能は群を抜いている。
28	川野 隆史	味そ製造工	(株)ますやみそ	「圧力酵素分解装置」を用いて、食塩を使用せず、短時間で味そを製造する技能を生み出した。また、乾燥状態でなければ安定しない「難消化性デキストリン」の効果が「生みそ」であっても低下しない製法を生み出し、実用新案登録された。
28	幸田 康夫	表具師	寺田内装表具店	寺院等の表装・表具を多く手掛け、業界への貢献、優れた表装技術は折り紙つきである。積極的・継続的に後進の指導・育成に取り組み、現在も技能検定表装職種受検のための指導を行っている。 <b>平成30年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和2年秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
28	大尾 武壽	数値制御金属 工作機械工	(株)IHI 航空宇宙事業本部呉 第二工場	航空エンジンのディスク部品の切削について、豊富な経験と確かな知識をもって安定した品質を確保する技術と技能を有している。ディスク、シャフト部品など回転部品の孔明け、ミーリング加工工程を試作段階から量産できる段階まで創り込むなど、近年の航空エンジンビジネスの大きな成長を支えてきた。
28	永井 孝彦	数値制御金属 工作機械工	三菱重工業(株) 三原製作所	オフセット印刷輪転機の折り機ロールや、オフセット枚葉印刷機の反転ロールの門型マシニングセンター加工において、高精度部品加工を要求される加工技能を有している。また工具改善や班員の考案改善を推進し、生産効率の増進、安全確保に寄与した。
29	大畑 充宏	板金工	マツダ(株)	技能五輪板金職種の選手として、全国大会で第1位、国際大会で銀メダルの功績を遺した。特に手板金加工作業において、手のひらで銅版表面をさすり、極微小な凹凸・ひずみを瞬時に感じ取り良否の判定ができる技能や、成形加工において様々な工具を自在に使い分け、いろいろな部位の形状を短時間で成形できる技能に優れている。 <b>平成30年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和2年秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
29	金川 和久	金属熱処理工	(株)ナガト	コイルと部品及び冷却装置との相対位置を一定とする「治具一体型コイル」を作製し、段替え誤差の低減を図った。高周波焼入コイルの設計、作製処理条件設定及び製造経験を生かした作業員目線での品質保証ができる技術は、卓越している。
29	寺澤 啓毅	機械修理工	(独)造幣局広島支局	貨幣製造設備の保全業務に従事し、コイル検査作業時における溶接センサーの誤感知をゼロにする取組や、危険体感施設(安全道場)の設立など数多くの業務改善を行い、さらに必要な部品や治具を自らが設計・製作するなど、純正画一な貨幣の安定的な供給に大いに貢献している。 <b>令和元年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
29	徳岡 秋雄	宮大工	(有)徳岡工務店	宮大工として数多くの寺社保存・再建・改修工事に携わっており、県内外で約130件の建築に関わった。伝統的な寺社建築の反り上がった軒、屋根などの複雑な納まりを処理する際に欠くことのできない規矩術(きくじゅつ)の名手で、県内の古建築修理に活かしている。
29	深井 トモ子	和服仕立職	(株)勝矢和裁	和服仕立職・修理職に長年従事し、技能グランプリの和裁部門で金メダルを獲得した。また車いす使用の方が着用しやすい二部式振袖や、洋装の「シャーリング」をウエストに使用した二部式着物など、いろいろな「きもの」の改良を考案している。 <b>平成30年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和2年秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
29	山室 達也	冷間圧延工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所 (福山地区)	薄板酸洗・圧延工程の操業に長年従事し、特に操業改善・設備改善の技能に優れている。能力拡大・品質向上・環境改善の様々な課題に対し改善を実施し、酸洗ラインにおける鋼帯の表面欠陥検出装置の開発など、4件の特許が登録されている。
30	幡歩 博正	研ま盤工	(株)ミツヨ広島事業所	精密測定機器の製造に従事し、門型平面研削盤のガイド取付面を、ラップ作業により $\mu\text{m}$ 単位で真直精度の要求精度を満たすなどにより製品の合格率飛躍的に向上させる高精度研削加工技能を有している。 <b>令和元年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和3年秋の褒章(黄綬褒章)受章</b>
30	筏津 敏雄	金属塗装工	マツダ(株)	自動車ボディー外板表面の塗装吹付作業で、マイクロメートルレベルの均一な膜厚になるように塗膜の変化を見極めながら吹付する技能や、塗装表面の艶や肌の状態などから良否を見極める技能を有している。 技能五輪の塗装職種において、国内大会、国際大会で多数のメダルリストを育成している。国際大会では競技の課題作成や審査等に携わっている。
30	上森 一成	数値制御金属工作機械工	(株)IHI航空宇宙事業本部呉第二工場	超難削材の合金が多く用いられる航空エンジン部品製造について、開発・試作段階から量産段階まで行える機械加工の第一人者である。形状が複雑で、製品の剛性が低いなど難しい要素が多いフレームケーシング部品においては、豊富な経験と確かな知識に基づき、最適な加工条件、加工方法を導き出し、安定した品質を確保する技術、技能を有している。
30	小堀 浩士	中華料理調理人	東洋観光(株)ひろしま国際ホテル	食材と調味料を専用袋に入れる「真空調理法」を中国料理調理の伝統的技法に取り入れるための特別レシピを仕上げるとともに、細胞破壊を減少させる冷凍法「プロトン凍結技術」を解凍時の「とろみ」を再現させて実用化するなど、自身の経験を基に、新たな技術を中国料理調理に応用する技術、技能を有している。
30	南場 清	厚板制御保全工	JFEスチール(株)西日本製鉄所	厚板工場の電気・計装設備の管理に携わり、厚板製造ラインにおけるポンプの吐出圧測定による異常検出技術の確立など、3件の特許・実用新案登録を含む技術開発を行うなど、安定的な設備維持管理の仕組みづくりや、製造能力拡大・品質向上のための知識と技能を有している。
30	矢野 裕次	金属熱処理工	JFEスチール(株)西日本製鉄所	薄板連続焼鈍工程の操業に従事し、安全・生産・品質・コストの観点から自らの知識・技能を基に、高精度な引張強度を担保するための製造条件(焼き入れ温度、ライン速度、成分等)の最適値を確立するなど、3つの特許を含む多数のライン稼働の改善案を実行してきている。

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
30	幸田 恒弘	表具師	(有)コウダ	鉄筋コンクリート建造物のコンクリート下地に直接クロス(壁装)を施工する、現在の標準工法になっている直貼り工法において、液状セメントによる下地調整をすることを考案するなど、直貼り工法の開発・普及に努め、数多くの実績を残している。
R元	落岩 國見	表具師	東洋額装(株)	<p>書画の修復にあたって、作品の劣化状況の分析、劣化に応じた下処理、保護、作業工法などの作業を行う技術・技能を有するとともに、試作品作成・改良にかかわって3件の実用新案を考案している。</p> <p>また、分析・データの収集・マニュアル作成などによりノウハウを蓄積するとともに、技能検定受験に係る指導を行い、伝統技術・技能の継承と後進の育成を行っている。</p>
R元	桑野 次郎	旋盤工	(株)IHI航空・宇宙・防衛事業領域呉第二工場	<p>超難削材であるチタン合金等を素材とした航空エンジンの部品を、薄く複雑な形状に高精度で加工するとともに、表面性状の健全性を確保する技術・技能を有している。</p> <p>また、CNC機械オペレーターの第一人者として後進育成に尽力し、航空エンジンのものづくり技術の根幹を作り上げ、牽引してきた第一人者である。</p>
R元	濱本 英樹	機械込造型工	マツダ(株)	<p>生産ラインや各種鑄造方案の設計、模型及び鑄型を製作する知識、技能のほか、五感を用いて鑄物砂や鑄型の異常を判断し、異常を改善する知識、技能を有するとともに、様々な改善を行い、自動車業界の発展に貢献している。</p> <p>また、自身のスキルを標準化させた作業手順書、標準作業票などにより、後継者に指導・育成している。</p>
R元	藤川 達也	打抜成形プレス工	(独)造幣局広島支局	<p>金属板の圧穿・圧縁工程での圧力・速度の調整と圧縁用金型を組み立てる技巧や、焼鈍・洗浄・乾燥工程での焼鈍の温度や時間、洗浄液濃度や浸漬時間を管理する知識を有するとともに、不全円形を除去する検出装置を1<math>\mu</math>m単位で調整する技能を有する。</p>
R元	藤田 比瑞留	製鋼工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	<p>銑鉄に含まれる不純物を取り除く製鋼工場の転炉工程に従事し、吹錬や炭素や冷却材の調整により、目的の成分規格に調整する知識と技能を有するとともに、特許登録を含め、転炉操業の安全・生産・品質・コストの観点で様々な改善を実行し、鉄鋼業界の操業技術向上に貢献してきた。<b>令和3年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)、令和5年秋の褒章(黄綬褒章)受章</b></p>
R元	松本 和三	機械修理工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	<p>鉄鋼業で使用する各種ユーティリティ(ガス・蒸気・圧縮空気・水等)設備の保守管理に従事し、貯蔵設備や圧送設備、移送設備などの機械設備全般の構造、機構、材質などの知識を有するとともに、機械の点検・補修時期や移送設備の更新時期の最適化など、ユーティリティ設備の安定稼働と適正管理のための設備保全の技能を有している。</p>

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
R2	高浦 卓臣	製鉄工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	製鉄所内のほぼすべての高炉操業管理に携わり、高炉炉内の複雑な反応状態を把握して調整を行う制御技術と、溶銑滓の表面輝度等の目視情報を基に、炉内の反応状況変化を把握する技能を有し、総合的な操炉判断を行うことができる。
R2	小川 淳	金属熱処理工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	連続焼鈍工程、及び鍍金の操業管理に携わり、安全・生産・品質・コストの観点で改善案を実行する技能を有し、製鉄所の連続焼鈍ラインの鋼板蛇行対策による月間生産量日本記録を達成などの行うとともに、自ら確立した連続焼鈍の技術・技能を後進に指導している。
R2	松本 正志	金属熱処理工	マツダ(株)	部品の耐久性に大きく影響するガス浸炭熱処理において、炉内の温度・雰囲気、処理時間等の90種類に及ぶ条件設定を行い高精度な商品を作り込む技術を有するとともに、熱処理後の品質確認において、金属材料を治金的に組織判定する検査により熱処理の良し悪しを判定する技能を有する。
R2	菅田 竜也	旋盤工	(株)ミツトヨ広島事業所志和生産部	マイクロメータの特注品の部品加工において、特注仕様の図面を理解して、材料手配、部品完成までの各加工工程の寸法及び工程順等の設計、部下への作業指導を行うことで、品質管理を徹底し、いかなる難易度が高い製品に対応できる知識・技能を有する。
R2	福村 文良	数値制御金属工作機械工	(株)IHI航空宇宙防衛事業領域呉第二工場	特殊な超難削材を薄く複雑な形状に加工するために、数値制御金属工作機械のほか、旋盤、中ぐり盤、フライス盤、研ま盤、金属特殊加工機を活用し、最適な加工方法、加工条件を導き出し、加工音の僅かな変化などから、異常を事前に察知して、1μm単位の高精度な寸法公差を満足させる技能を有する。
R2	落合 正	アーク溶接工	山九(株)東中国支店	溶接姿勢や溶接個所の材質・状態、溶接材の選定、溶接個所への入熱による材質への影響や変形、適切な電流・電圧値など主要要素を考慮し、適切に電気溶接を行う技能のほか、仕様が定まっていない突発的な補修において、知識や経験を基に主要要素を考慮し、的確な溶接条件と作業計画を立案・実行する技能を有している。
R2	藤原 光夫	生産設備保全工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	製鉄工程から最終製品工程までの当地区におけるほとんどのエリアで機械保全統括職に就任し、安定的な設備稼働に貢献して来ただけでなく、設備を継続的に維持・管理できる仕組み作りを行なう技能を有している。 <b>令和4年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
R2	田中 秀治	電気機械器具保守員	(独)造幣局広島支局	貨幣製造設備の定期点検の保守を行うとともに、溶解設備の故障時に原因特定・修理を速やかかつ適切に実施するほか、生産設備ごとに異なる設備固有の特性を見極めた上で問題点を洗い出だし、効率的でより安全な設備改善を行う知識と技能を有している。

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
R2	山中 武則	表具師	インテリア山中	表具師として、材料や下地から、施工後の仕上がりを完全にイメージするとともに、材料等の制約がある中で、与えられた状況で繊細な技を駆使する技能のほか、下地の極僅かな歪みが表面に表れる金箔貼では、決して折り目をつけず、糊付けをしたら金箔が柔らかくなるため迅速に作業する技能を有する。
R3	山根 和樹	原材料試験検査工	(独)造幣局広島支局	貨幣材料等の化学分析作業に従事し、貨幣用材料地金の分析、溶解用銅地金やニッケル地金等の納品時検査分析等を担当。標準分析法による銅やニッケルの分析では熟練を要するが、豊富な知識・経験・技能により、多くの分析試料に対し着実に対応するとともに、原子吸光光度計等による機器分析に積極的に取り組み、幅広い技能を有している。 <b>令和5年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
R3	栗尾 信治	中間製品検査工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	主力製品の一つである薄板の検査工として、特に高度な検査技能を求められる自動車外板材の検査技能においては社内外から高い評価を得ている。品質と能率を両立した検査ラインの改善を積極的に進め、出側内径スリーブ交換の人手タッチレス化等を実施し、検査ラインの生産能率向上と安全性向上の両立を実現した。
R3	和木 伸行	旋盤工	三菱重工機械システム(株)	新聞輪転機や枚葉印刷機など産業用オフセット印刷機械に組み込まれる歯車加工に長年従事しており、特に高精度歯車加工技能に優れている。ミクロンメートル( $\mu\text{m}$ 0.001mm単位)の高精度の要求に対し、数値制御旋盤での加工技能をベースとして、多種類の機械加工設備による加工技能を高いレベルで習得し、高精度の歯車を加工し、多くの高級印刷機械を世に出した。
R3	波谷 和美	機械修理工	マツダ(株)	管理手段においてCBMを目的とした診断技術を用い、機能低下の初期状態を発見し設備の稼働・品質を阻害する事無く測定、分析、不具合の特定ができる高度診断技術を保有している。診断技術をラインの総合監視システムとして構築し設備診断のIoT化を進め新たな保全技術を追求展開している。 <b>令和5年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
R3	藤沢 政伸	機械修理工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	機械設備の設備管理に携わり、安定的な設備稼働への貢献とともに継続的に維持・管理できる仕組み作りを行い設備管理技術向上に大いなる貢献を果たした。薄板製造ラインにおける各種課題に対して、豊富な経験に裏付けられた知識・技能を基に主にQC活動を通じて設備改善を進め、稼働安定化及び製品品質向上に貢献した。

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
R3	中村 和也	中華料理調理人	グランドプリンスホテル広島	早くからヌーベルシノア(西洋食材を中国料理の技法で調理。洋風の皿に盛り付けコース料理のように提供)を取り入れ、婚礼や宴席でお客様から好評を得た。油の使用を控え素材の持ち味を活かし、また低温調理法と真空調理法を取り入れ開発し商品販売するとともに、食材を安全に滅菌できる温度と時間を研究し、レシピ化し誰もが同じように料理を仕上げられるようにした。
R4	鈴川 洋利	NCフライス盤工	Primetals Technologies Japan (株)	高い加工精度が要求される製鉄機械部品に対し、技能研鑽により習得したノウハウと鋭敏な感覚を駆使し従事。最適な加工手順を考え段取り、微妙な歪を考慮した芯出し、切削時の切粉の色や形状・切削音・加工面の手触りなど五感をもフル活用し、要求通りの加工精度を迅速に実現する卓越した技能を有している。
R4	黒田 幸一	マシニングセンターオペレーター	マツダ(株)	マシニングセンター工程において加工方案の設定・治具構成・NCデータ作成・刃物選定に関し豊富な経験と知識を有し、部品図面の要求品質に対し最適なアイデアを具現化。品質保証の管理ポイントも熟知しマシニングセンター業務全般で指導できる。将来の商品化に向けた設計加工仕様の決定に多大な影響力を発揮し、多様なエンジン加工技術の先駆的な礎となり商品化・実用化に導いている。 <b>令和5年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
R4	奥田 聖治	プレス成形工	(独)造幣局広島支局	貨幣製造において円形の良し悪しが貨幣品質を決定するとされる成形工程(高品質な円形を製造し供給する工程)において、適正なプレス加工の条件、焼鈍・洗浄条件、不全円形除去条件を貨幣の種類毎に合わせた設定・調整を行う技能に優れている。成形工程の大部分で実績を積み、各工程に係る技術及び知識を蓄積し技能に習熟している。
R4	谷口 賢二	計量器・測定器組立工	(株)ミトヨ志和工場	マイクロメータ及びホールテストの製造に長年従事し、完成品検査技能や測定技能において豊かな知識・高い技能を有している。完成品検査では新商品の検査方法の確立や既存製品の検査の効率化、検査体制を構築。測定の難易度が高いハイリードや高精度デジマチックマイクロなどの基点合わせの測定面の合わせ方や測定力の掛け方など非常に安定している。
R4	南部 隆治	電気機械修理工	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)	熱間圧延工場における電気計装設備の保全に従事し、卓越した知識・技能の習得のみならず、新たな保全技術の導入を常に考案。設備管理を継続的に維持できる体制を構築し、仕組み作りや技能を共通の基準書として体系化する等、技能伝承において中心的役割を果たしている。日々故障しにくい設備への改善を模索し、積極的に活動を推進している。



表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
R4	勇崎 元浩	西洋料理調理人	ル・トリスケル	西洋料理(フランス料理)の調理に長年従事し、特に正統派フランス料理の継承における技能に優れている。フランス料理の伝統的な価値を理解し、二度の渡欧により習得した確かな技法により、広島県産食材を用いて表現することで新たな価値を生み出している。2000年開催の、IKA世界料理オリンピックにおいて広島県チームの代表を務め、銅メダル獲得に貢献。 <b>令和5年度厚生労働大臣表彰受賞(現代の名工)</b>
R4	富岡 昭則	表具師	富岡泰雅堂	時代物の屏風・古書画の染み抜き・補修などに秀でており、特別な技能を有している。表装1点ごとに状態が異なるため、豊富な知識・経験による的確な判断が必要であり、研ぎ澄まされた感覚を持ち合わせている。出雲大社の会所(重要文化財)床の間大壁和紙の貼替等の施工にあたった。長年業界団体の役員を務め業界の発展に寄与した。
R5	高下 佳紀	鋳物工	マツダ(株)	内燃/駆動系鋳鉄製製品の製造ラインに従事。キュボラ操業、電気炉溶解、鋳込み等鋳鉄溶解工程に高い技能を有する。製品に求められる機能・強度等が要求品質が満足できる溶解/鋳込み条件を設定できる。伝承者として継承者の育成及び修了課題の電気溶解炉コイル更新業者工事の自前での内製化を行う。
R5	上原 俊夫	NC旋盤工	三菱重工機械システム(株)三原事業所	新聞輪転機や枚葉印刷機など産業用オフセット印刷機械に組み込まれる歯車加工に長年従事。数値制御旋盤、数値制御マシニングセンタ、歯車研削盤、スロッター盤などの多種類の機械加工設備による加工技能を高いレベルで習得。高精度の歯車を加工し、多くの高級印刷機械を世に出した。出荷前検査の責任者として、特に3次元座標測定機をはじめとした高い計測技能を持ち、産業用オフセット印刷機の品質向上に大きく貢献。
R5	田村 憲一	NCフライス盤工	(株)ミットヨ	機械加工分野において専用機・治具部品の製作、金型の製作や特注製品製作を主業務に、高度な技術・技能を駆使して活躍。フライス盤等多くの加工等、製品の最適な加工工程を設計、治具化案出しと量産立上げを実施。最適な工程設計、加工方法の選定、汎用機からMCまでの操作。切粉の色や形状、刃物の熱を考慮し設備能力、ワーク/治具の剛性に合わせた切削条件設定、加工方法の選定。
R5	新家 益子	刃物製造工	ツボサン(株)	一口に目立てと言っても習得すべき技能は奥が深く、目立てのみならずヤスリ製造全般の知識を必要とする。特に目が細くなればなるほどレベルの高い目立て技術が必要となり、最も目の細かい目立てを任される職人は社内でも数名程度しか居ない。氏は目が細かい上に特殊な形状の上にも目立てが可能で、この技術を有する職人は社内にも数少ない。

表彰年度	氏名	職種	所属	技能功績の概要
R5	高木 正博	アーク溶接工	JFEプラントエンジニア(株)福山事業所	製鉄関連設備補修や鉄工製品の製缶・溶接業務に携わる。アークエア・ガウジングを用い亀裂等のハツリ作業時間を半分以上短縮。高難易度のT-1P,N-2V,SA-3H等取得。発電設備溶接作業の「電気工作物の溶接士技能承認」で特殊な電気工作物(主に発電所設備)溶接作業を行う。連続アンローダーケーシング更新で既設をガス切断(製缶)・分解撤去、新ケーシング調整(組立)し溶接を行い、総合的技能を有す。
R5	吉田 誠	金属加工機械組立工	(株)ミツヨ 志和工場	精密部品の仕上組立知識・技能に優れ機械設備の保全・保守、専用機・治具・金型や特注製品製作に従事。マイクロメータ製造で専用機自社製作。キサゲ、ラップ技能では設備、製品等の高精度化、測定技術の検討、仕上方法を見直す。研削盤等故障設備の精度復元、保全活動定着化、計画保全展開、品質課題対策・慢性不具合原因追究、保全技術者育成の取組、設備可動維持と工程能力の維持向上に尽力。
R5	森 信行	生産設備保全工	JFEスチール(株)西日本製作所(福山地区)	薄板製造ラインの機械保全に長年従事。機械設備の設備管理に携わり安定的な設備稼働に貢献。継続的に維持・管理できる仕組み作りを行い設備管理技術向上に大いなる貢献を果たす。安定的な設備維持管理と薄板製造ラインにおける各種課題に対し豊富な経験と知識・技能を基にQC活動を通じて設備改善を進め、稼動安定化及び製品品質向上に貢献。特に優れた案件は特許登録(3件)された。
R5	谷村 和則	かわらふき工	(株)谷村寺社工社	本瓦葺きと棧瓦葺きで高い技能を有する。滑らかな曲線の日本伝統の木造建築物の屋根構造を美しく仕上げる感性と技術を持つ。焼瓦のねじれ・歪みを見抜き、応じた部位へ振分け、数種類の瓦を滑らかな美しい線で組上げる。磨かれた感性に加え早期に本瓦葺き縦棧工法を取入れ袖丸全部止を考案、瓦下地に全部止工法を取る等、新しい技術研鑽を怠らない。技術指導や専門技術伝授にも力を注ぐ。
R5	川村 満	日本料理調理人	(株)はんべえ	氏は基本(五法・五味・五色・五感)に丁寧に沿い努力を惜しまない。正統派で素材の旨みを引き出す味付け、味に影響する切り方、絶妙な火入れ等レベルの高さは勿論、日本料理に必要な四季の移ろいを感じる器に合う盛り付けや料理に添えるあしらい等光るセンスを持つ。大勢でも作置きせず、温かいものは温かく冷たいものは冷たく、食べ手に寄り添う提供のため仕込みに時間と工夫を重ね準備する。